

活動フォト

延岡市北川町「くらこん」
総務政策常任委員会調査



会派調査「新潟大学の
産学官連携の取り組み」



地域活性化事業の
「延岡市北浦町のカキ小屋」



100万泊県民運動
～県職員の手作り県内ツアー～
美郷町「御田祭」

今年も「まつり延岡」に参加



地元の「榎山3区敬老会」



母校の「東海中学校体育祭」

**県政
相談**

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

TEL/FAX : 0982-26-1945 携帯 : 090-5021-7729
田口雄二 住所 : 〒882-0004 延岡市榎山町3-841-2
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com>

田口雄二

検索

宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより

きあな

第23号 平成26年10月 編集/発行 田口ゆうじ

ごあいさつ

過ごしやすい秋を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃からのご厚情

に心から感謝を申し上げます。

9月定例県議会で今回は代表質問を行いました。一般質問の倍となる2時間の持ち時間で、県内広範囲の諸課題について、知事をはじめ執行部とやり取りしました。今回は議会直前に、行政処分を受け、また補助金の不正受給で逮捕されている産廃業者の社長から、知事への献金問題が発覚し、その事実確認の質問が各会派、各議員からなされました。スポーツマンでクリーンな印象を持っていた県民には、知事のイメージダウンになってしまいました。その知事選は12月4日告示、21日投票の予定です。



9月定例県議会の一般質問

9月定例議会で
決まったこと

16議案を可決、誓願3件を採択

◆補正予算

39億1492万9千円、一般会計予算規模は5802億7832万6千円となる。

香港航空が香港～宮崎間に週2便を12月に就航予定で、路線の安定的な運航を図るための支援、開館から21年が経過した県立芸術劇場の大規模改修事業、薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点化モデル事業、特別支援学校の老朽化したバスの更新事業等が補正の主な事業となります。

◆意見書

- ・労働者保護制度の見直しに関する意見書
- ・慎重な参議院選挙改革を求める意見書
- ・国会における憲法改正議論の推進を求める意見書
- ・軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取組の推進を求める意見書
- ・産後ケア体制の支援強化を求める意見書
- ・「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

◆誓願に基づく意見書

- ・燃料価格高騰に伴う運送事業者への対策強化を求める意見書
- ・適正な法曹人口のための法曹養成制度の抜本的見直しを求める意見書

9月定例県議会

代表質問項目

- 1 知事の政治姿勢
- 2 医療福祉行政について
- 3 林務行政について
- 4 地域活性化について
- 5 農政水産行政について
- 6 県土整備行政について
- 7 教育行政について
- 8 警察行政について



質問に答える河野知事

国民体育大会(国体)について



県体育協会は2026年に2巡目の国体誘致を目指すこととしました。しかし、国体には、国からの財政的な支援はないことが、今回の質問であきらかになりました。昨年の東京は別として、最近の国体開催県も本県同様の厳しい財政状況のところほとんどです。今回の2巡目までは受けざるを得ませんが、国体を今後も継続して3巡目もやるのか、検討が必要です。

国体は戦後のスポーツ施設やインフラの整備、そしてスポーツの普及振興を図り、国民の体力向上、健康増進等々大きな役割を担ってきました。しかし、1巡目の頃と現在では開催の意味も大きく変わってきたのではないのでしょうか。各スポーツの全国大会や地方大会が頻繁に開催されている中、いまさら国内のミニオリンピック同様の国体を1県に大きな負担をかけて開催する意味があるのか、疑問に感じます。

たとえば全国高校総体と同様に、地域の何県かで連携して開催等の工夫も必要ではないのでしょうか。知事に提言もいたしました。九州知事会や全国知事会等でも今後の国体の開催について、議論の場を設けていただきたいものです。

特殊サギ(オレオレ詐欺)にご注意を!

先日都城市で1億1千万円の被害が出るなど、本県の被害金額はすでに過去最悪となっています。弱者を対象に悪質巧妙化しており、振込型の被害から、現金を宅配便等で送付させたり、直接現金を受け取りにくる手口が増加しています。県警では、犯人からの電話を撃退し、被害防止が期待できる**自動通話録音機の無料貸し出し**を行っています。ご入用の方はご連絡ください。

夕刊デイリー新聞(2014年9月12日)

県議会
代表質問
土曜授業の実施判断
市町村教委が主体的に
県議会9月定例会は11日



山口雄二議員

日、代表質問最終日を迎え、県北関係は山口雄二議員(県民連合宮崎、延岡市区)が登壇した。主な質疑応答は次の通り。

▽原木調達「中国木材の影響は」
本稼働で県内製材工場への影響は。土曜授業「県教委としての考えは」。

▽佐藤健司福祉保健部長「認定ことも」本県は4月1日現在で42園。九州では長崎に次いで2番目に多い。アンケート調査では新たに70近くの幼稚園保育園が移行を希望している。柔軟に子どもを受け入れることができると子育て支援の充実になるため、認可手続きの迅速化など適切に対応したい。

【徳永三三環境森林部長】原木調達「中国木材はスギを中心に年間30万立方メートルを消費する計画で、うち約20万立方メートルを県内から調達する。本県の年間素材生産量はこの5年で30万立方メートル増加し、中国木材と林業3団体が安定的な供給について覚書を締結している。影響は少ないと考える。」

【飛田洋教育長】土曜授業「豊かな教育活動を提供する観点から意義あること。実施については市町村教委が主体的に判断するもの。県教委としては、教職員がまとめて週休日の振り替えが行えるなど規定変更などの条件整備を行い、次年度の教育計画を作成する時期までに方向性を示したい。」

【田口雄二議員】認定ことも園「新制度への移行の見通しは」。

延岡市は、県体育協会が8月の臨時会議で2026年を念頭に誘致する方針を確認した団体について質問。「宮崎国体(1979年)の開催でスポーツ施設が飛躍的に向上した。ただ、その際に建設された施設は老朽化しており、2巡目に向け、どう施設整備を進めていくのかと尋ねた。」

河野知事は「県有スポーツ施設の多くは宮崎国体前に県総合運動公園に整備した。多くの施設が30年以上経過しているが、厳しい財政状況で新たな整備は困難な中で、定期的な改修などで維持管理に努めている」と説明。2巡目の国体開催に向けては「各団体を市町村のどの施設で実施できるのか、既存施設の改修や隣県施設の活用、一時的な特設会場の設置、入札の試行を「知事選(12月)も含め、総合的に検討していく必要がある」と述べた。

田口議員は施設整備に伴う費用にも言及し、「国からの補助はあるのか」と質問。飛田洋教育長は「国体のための施設整備にかかる国の補助金等はない」と明かし、「一定の成果が見られる一方、一般競争入札との併用を求める声も多く聞かれる。今後、建設業者へのアンケートや関係団体との意見交換を踏まえ、年間を通じた試行結果を総合的に検証し、県議会も入札・契約監視委員会の意見を聞き判断する」と答えた。

また、日向市東郷町出身の歌人、若山牧水が2015年に生誕130年を迎えることに触れ「県として記念イベントを企画する予定はないか」と質問。橋本憲次郎総合政策部長は「生誕110年を機に創設した若山牧水賞も15年度に20回の節目を迎える。(牧水にゆかりのある)延岡市や日向市と連携し、さまざまな記念事業を検討したい」と述べた。

宮崎日日新聞(2014年9月12日)

県議会代表質問詳報 (最終日)



山口雄二議員(県民連合宮崎)

延岡市は、県体育協会が8月の臨時会議で2026年を念頭に誘致する方針を確認した団体について質問。「宮崎国体(1979年)の開催でスポーツ施設が飛躍的に向上した。ただ、その際に建設された施設は老朽化しており、2巡目に向け、どう施設整備を進めていくのかと尋ねた。」

河野知事は「県有スポーツ施設の多くは宮崎国体前に県総合運動公園に整備した。多くの施設が30年以上経過しているが、厳しい財政状況で新たな整備は困難な中で、定期的な改修などで維持管理に努めている」と説明。2巡目の国体開催に向けては「各団体を市町村のどの施設で実施できるのか、既存施設の改修や隣県施設の活用、一時的な特設会場の設置、入札の試行を「知事選(12月)も含め、総合的に検討していく必要がある」と述べた。

田口議員は施設整備に伴う費用にも言及し、「国からの補助はあるのか」と質問。飛田洋教育長は「国体のための施設整備にかかる国の補助金等はない」と明かし、「一定の成果が見られる一方、一般競争入札との併用を求める声も多く聞かれる。今後、建設業者へのアンケートや関係団体との意見交換を踏まえ、年間を通じた試行結果を総合的に検証し、県議会も入札・契約監視委員会の意見を聞き判断する」と答えた。

また、日向市東郷町出身の歌人、若山牧水が2015年に生誕130年を迎えることに触れ「県として記念イベントを企画する予定はないか」と質問。橋本憲次郎総合政策部長は「生誕110年を機に創設した若山牧水賞も15年度に20回の節目を迎える。(牧水にゆかりのある)延岡市や日向市と連携し、さまざまな記念事業を検討したい」と述べた。

牧水生誕130年で事業

「施設が老朽化している現状では競争入札との併用を求める声も多く聞かれる。今後、建設業者へのアンケートや関係団体との意見交換を踏まえ、年間を通じた試行結果を総合的に検証し、県議会も入札・契約監視委員会の意見を聞き判断する」と答えた。

また、日向市東郷町出身の歌人、若山牧水が2015年に生誕130年を迎えることに触れ「県として記念イベントを企画する予定はないか」と質問。橋本憲次郎総合政策部長は「生誕110年を機に創設した若山牧水賞も15年度に20回の節目を迎える。(牧水にゆかりのある)延岡市や日向市と連携し、さまざまな記念事業を検討したい」と述べた。

香港航空が12月に就航予定

アジアナ航空(仁川)、中華航空(台北)に次いで国際線が3路線に

本県が掲げる「東アジア経済交流戦略」を推進する上で大きな前進です。香港は訪日旅行ニーズ、リピーター率(10回以上も珍しくありません)も高く、また個人消費も多額で、今後いかに宮崎に誘客できるかが課題です。本県の豊かな自然景観や食文化等の多彩な魅力等と、南九州一帯の認知度向上を図り、更なる誘客促進に取り組まなければなりません。

夕刊デイリー新聞(2014年9月12日)

2巡目国体施設整備に国の補助金はー 県教育長利用できる制度ないか研究

本県での2巡目国体について、飛田洋教育長は11日、開催に向けた施設整備で「国の補助金はないか研究したい」と述べた。県議会定例会代表質問で、県民連合宮崎の田口雄二議員(延岡市区)に答えた。

国体は昭和21年に始まり、本県では54年に「日本ふるさと宮崎国体」を12月町で開催した。2巡目は63年の京都国体からスタートし、九州では福岡、熊本、大分県が終極の舞台。長崎県は今年実施、平成32年が鹿児島県、35年が佐賀県で予定されている。県体育協会は12年、後の38年開催を視野に、2巡目国体と全国障害者スポーツ大会の本県誘致を目指している。

田口議員は「各スポーツ施設は多くが老朽化しており、リニューアルが必要状況。国体を契機に施設整備を期待する声が多くなると想像される。国からの補助はあるのか」と質問。日本体育協会は国体開催基準を細則で、既存施設の活用にも努め、既設施設に当たっては大会

平成32年が鹿児島県、35年が佐賀県で予定されている。県体育協会は12年、後の38年開催を視野に、2巡目国体と全国障害者スポーツ大会の本県誘致を目指している。

田口議員は「各スポーツ施設は多くが老朽化しており、リニューアルが必要状況。国体を契機に施設整備を期待する声が多くなると想像される。国からの補助はあるのか」と質問。日本体育協会は国体開催基準を細則で、既存施設の活用にも努め、既設施設に当たっては大会